

3つの「わかる」で評価する授業分析法の提案

藤田 敦 (大分大学)

キーワード：授業分析，学力の3要素

問題と目的

学力向上は現代の主要な教育課題であり，教育科学の領域においても，「確かな学力」を高める効果的な授業法の開発や改善が求められている。この「確かな学力」は，①基礎的知識・技能を確実に獲得する習得型学力，②新たな知識や解を自ら能動的に発見・検証する探究型学力，③既習の知識を多様な課題場面に応用する活用型学力の3要素によって構成されている。

ところで学校における授業の第1の目的は，児童生徒が学習内容を「わかる」ことにある。藤田(2016)は，「わかる」の漢字表記に，「判る」，「解る」，「分(か)る」という3つのパターンがあることに着目し，その意味の違いを手がかりとして各々の「わかる」を先の学力の3要素と関連づけながら概念整理を試みた(Figure 1)。基礎的な知識・技能の習得(習得型学力)には，どのような問題に対してどの知識が適用できるかを正確に判断できる(判る)ことが求められる。また，課題発見や仮説検証の能力(探究型学力)を身に付けるには，なぜと問い続け，物事の背後にある因果関係を解釈する(解る)力が必要となろう。さらには，探究・習得した知識・技能を積極的に利用するためには，それらの知識の価値や活用することで生じる利点を，社会や他者と分かち合っている(分る)ことが条件となろう。このように，学力と「わかる」の間には，「習得するために必要な“判る”」，「探究することで到達する“解る”」，「積極的な活用を生み出す“分る”」といった関係があることが想定できる。

そこで本研究は，3つの「わかる」という観点から授業中の活動を分類し，授業において成立する学習と，そこに関与している教授活動の関係を明らかにしていくための授業分析の方法を提案することを目的とする。

方 法

小学校の授業実践記録を分析し，どのような「わかる」が達成されたか(可能性があるか)を推定し，授業中の個々の教授学習活動を分類する。

結果と考察

事例1【4年生算数『面積』】判る：面積概念の定義や面積の表し方の決まりを

確認したり，練習問題によって公式を使えるようになる。解る：面積の表し方や求積の方法を工夫して求める探究的な活動を行う。分る：広さを決められた方法で表すことの意味・利点(広さ比べや日常生活における有用性)を確認・共有する。

事例2【5年生国語『大造じいさんとガン』】判る：通読，新出漢字調べ，登場人物の特徴やあら筋の整理を行う。解る：大造の心情の読み取りや行動の理由を考え説明する。分る：感想の共有や作者棕鳩十が伝えたかったことを推測する。

事例3【6年生社会『室町文化』】判る：時期，場所，文化的建造物・作品の名称・作者等の情報を整理する。解る：室町文化が生まれた理由を時代背景や他の文化との比較から推測する。分る：(時代を超えた)民衆にとっての文化の意味や現代(自分たち)の生活との共通点・相違点について考える。

以上のように，授業における学習活動は，3つの「わかる」のいずれかに分類可能である。「わかる」という観点から授業を特徴付けることで，個々の授業が，どのような学力の育成に寄与するか(あるいは不足しているか)を評価していくことができると予想される。

	判る学び 習得型学力	解る学び 探究型学力	分る学び 活用型学力
わかるのイメージ	【判る】定型，基準，ルール，決まりと照合する * 判別，判読，審判，裁判，判例，判明，	【解る】決まり，ルール，関係を探り出す * 解釈，解説，解剖，解体，解散，解析	【分る】意味や価値，決まりを認め合う・分け持つ * 分掌，分類，分配，分散，分析，分与
わかる学びとは	* 「～は～である」正否・善悪・相違を区別できるようにする 「この問題には，この公式を使えば良い」 ～判断する学び	* 「～となるのは～だから」内容・仕組・関係を予測できるようにする 「なぜなら，この公式はこうなっているから」 ～解きほぐす学び	* 「～は～な意味がある」意義・価値・考えを共有できるようにする 「この公式を知ることでのような良い点がある」 ～分かち合う学び
わかるための思考活動	* 決まりの気づき ルール，基準，解法，手続き等の決まりを憶える	* 仕組みの気づき 「なぜ」「どうして」と問い決まりの仕組を考える	* 価値への気づき その決まりを学ぶ社会的な意義を確認し合う
わかるための言語活動	* 記述活動 見聞きした出来事や，感じたことの特徴や違いを言語化する	* 論述活動 出来事の順序や因果関係を論旨が通るように言語化する	* 説明活動 出来事の意味，それを知る意義を納得できるように言語化する
関連する授業スタイル	ドリル学習 講義形式 受容学習	問題解決型授業 発見学習 仮説実験授業 アクティブラーニング	学び合い・協同学習 ディベート

Figure1 3つの「わかる」の概念(藤田,2016)